



No. 53



1

協立温泉病院広報紙

令和4年(2022年)6月23日発行



〒666-0121
兵庫県川西市平野1-39-1
医療法人協和会 協立温泉病院
広報・連携委員会
TEL. 072-792-1301
FAX. 072-792-2341
URL: <http://www.kyowakai.com/>

院長就任のご挨拶



鳥取大学医学部附属病院医療情報部長から協立温泉病院 院長に就任させて頂きました近藤博史です。私は1956年兵庫県伊丹市に生まれ、中学1年生の時に吹田市移動、1994年から箕面市小野原東に住居を構え、ずっと阪神間で過ごしてきました。能勢電は中学の夏の宿題で多田銀山跡に鉱石採取で乗りました。親戚が日生住宅におりまして、義父が一時、協立温泉病院で働かせて頂き、義母も一時入院させて頂いたこともありました。

私は、1981年に阪大を卒業後、第3内科、放射線科で研修後、放射線診断専門医となりました。93年の阪大病院の移転・インテリジェントホスピタル化に放射線部門の電子化を担当しました。デジタル画像の画質評価、システム構築を任せられ、当時の小塚教授・病院長にはMr. PACSと呼ばれました。後に、97年徳島大学医学部附属病院の医療情報部副部長に呼ばれ、医療情報へ方向転換しました。01年に鳥取大学医学部附属病院医療情報部長・教授になり、03年、国立大学病院で初めて電子カルテ100%稼働を達成し、10年から鳥取県地域医療ネットワークを構築しています。現在、日本医療情報学会の理事をしております。また、98年の四国四県電子カルテネットワーク、02年と05～07年の衛星通信を使った在宅医療、災害医療システムの実証実験により、17年からオンライン診療、医療DXで注目される日本遠隔医療学会会長をしております。また、2020年からは厚生労働省のサイバーセキュリティ関係の調査研究班の代表をしております。2021年からは遠隔ICUの関係から集中治療学会のNPO法人 ICON理事もさせて頂いております。

さて、協立温泉病院 院長になりまして、慢性期病院の大変さを実感しております。これまでの急性病院とは全く異なること、20年以上主治医になっていないことなど、皆様には、ご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、頑張りますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

近藤 博史

看護部長就任のご挨拶



この度、令和4年4月1日付けで協立温泉病院の看護部長に着任致しました内田敏江と申します。私は、平成7年に協立病院に就職し主に外科系の病棟で25年ほど勤務させて頂きました。その後、当施設協立温泉病院で3年勤務させて頂いたのち、ウエルハウス清和台で2年の勤務を経てこの度協立温泉病院に戻ってまいりました。お顔なじみの方も沢山おられ、緊張の糸が途切れる一瞬にほっとさせて頂いております。

コロナ禍で医療体制が大きく変わることに3年目に突入いたしました。日々状況が変化し、新型コロナの終息の兆しが見えずストレスフルな状況が続く中ではありますが、現場の皆様の声に耳を傾け、少しでも働きやすい職場環境を共に考え、少しでも安心して患者様が当院をご利用いただける環境づくりをしていきたいと思っております。

現在、本年9月の緩和ケア病棟開設に向けて準備がなされております。患者様がその人らしい生活ができる支援ができるように準備を進めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

内田 敏江

事務長就任の挨拶



令和4年4月1日付けで着任致しました事務長の下垣と申します。

私は協立温泉病院の開院当時にも勤務していましたので、35年ぶりに戻ることに
なりました。

当時は病院名の通り、温泉（炭酸泉）を利用したリハビリテーションを行っており、
プロ野球選手が怪我の治療で来られる事もありました。

現在、温泉は使用しておりませんが、以前に増して良質なリハビリが患者様に提
供出来る病院になったと思っています。

今年9月には市立川西病院の緩和ケア病棟を当院5階南病棟に移し、新たな分野でも地域医療に貢献出来

今年もフレッシュな新入職員を迎えました！



入職から約3ヶ月が経過しました。それぞれ配属された部署で、日々学び成長
しております。宜しくお願ひ申し上げます。

看護部： 23名

栄養科： 1名

温泉ギャラリーが新しくなりました



当院併設の「つくんこ
保育園」園児の可愛ら
しい作品です。是非ご
覧になって下さい。